



教育長あいさつ

新座市教育委員会教育長 金子 廣志

本日ここに、平成28・29・30年度新座市教育委員会委嘱による新座市立石神小学校の研究発表会が開催されますことを心よりお慶び申し上げます。

現在、平成32年度に完全実施を迎える新学習指導要領においては、知識・理解の質を高め、資質・能力を育むため「何ができるようになるか」を明確化し、目指す資質・能力を全ての教科等において①知識及び技能②思考力、判断力、表現力等③学びに向かう力、人間性等、の3つの柱で再整理し、これらをバランスよく実現していくことが求められております。

このような中、石神小学校におかれましては、「自ら考えを深めることのできる授業の創造」を研究主題とし、『伝え合う力を高める指導の工夫』を副題として熱心に国語科を中心とした研究に取り組んでこられました。特に授業において、児童の問題意識を生かした学習課題を立て、多様な言語活動を体験させれば、主体的に学習に取り組むだろうという研究仮説をもとに取り組んでこられました。児童が自分の力で学習計画や学習課題を設定し、「伝えたい」という意欲を高め話し合いに参加する活動を取り入れた本研究は、新学習指導要領が目指す「主体的・対話的で深い学び」に通じるものであります。

終わりになりますが、本校の研究のためにこれまで御指導いただきました、元十文字学園女子大学人間生活学部 教授 松木 正子 様、元浦安市立美浜南小学校教諭 秋山 誠 様をはじめとする諸先生方に心より感謝申し上げますとともに、石神小学校 坂口 智 校長を中心に御努力いただいた教職員並びに研究推進に御協力賜りました保護者、地域の皆様に感謝申し上げ、あいさつといたします。

# 研究の全体構想

## 学校教育目標：学び合い・心豊かに・たくましく

### 前回発表の反省から

- 成果** 話し合いの中で、自分の考えの根拠を示すことができるようになった。
- 課題** 互いの考えを伝え合い、相手の考えを参考にしながら自分の考えを再構築するには至らなかった。
- 教師の願い** 本気で話し合い、双方向の意見交流をし、自分の考えを深めてほしい。

### 研究主題

## 自ら考えを深めることのできる授業の創造

### ～伝え合う力を高める指導の工夫～

### 国語科を中心とした授業研究・授業公開・全体研修の実施

#### 目指す児童像

(低学年)  
話題にそって話し合うことができる児童

(中学年)  
相手の考えと比べながら根拠を示して話し合うことができる児童

(高学年)  
相手の意図を汲み取りながら、状況に応じた話し合いをすすめることができる児童

#### 研究仮説

児童の問題意識を生かした学習課題を立て、多様な言語活動を体験させれば、主体的に学習に取り組むようになるだろう。



学校長あいさつ

新座市立石神小学校長 坂口 智

本日、平成28・29・30年度の3年間の研究の成果を発表させていただくことは、職員一同大きな喜びであります。私ども石神小学校教職員は「いのちキラキラ輝かせ じんじの心大切に がんばる力実らせて みんなの笑顔咲かせよう」をキャッチフレーズに、児童一人一人が「笑顔あふれる楽しい学校」となるよう研究を進めてまいりました。国語に対する意識調査の中で、話し合いが好きであると答えた児童が73%、人の話を聞くことが好きな児童は79%というアンケート結果がでました。しかしながら、友達の意見を聞いて自分の考えを深めることには至っていないことが浮かび上がりました。新学習指導要領においても育成を目指す資質・能力の3つの柱（①何を理解しているか、何ができるか ②理解していること・できることをどう使うか ③どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか）が掲げられています。

そこで、本校では、低・中・高のブロックに分かれて研究を進め、先行授業を土台にし、熟慮を重ね研究授業を行い授業改善に取り組んで参りました。その積み重ねがブロックの結束、一体感のある研究の取組へと連鎖したように思います。

まだまだ研究の途上のつたない発表ではございますが、御参会の皆様から忌憚のない御意見等をいただき、今後の研究に生かして参りたいと存じます。

最後になりましたが、本研究を進めるにあたり、懇切丁寧な御指導をいただきました 元十文字学園女子大学人間生活学部 教授 松木 正子 様、元浦安市立美浜南小学校教諭 秋山 誠 様、新座市教育委員会学校教育部教育支援課教育支援係長兼指導主事 河村 雅博 様、教育支援課指導主事 山崎 孝雄 様に心より感謝申し上げますとともに、発表の機会を与えていただきました金子 廣志 教育長をはじめとする新座市教育委員会に御礼を申し上げ、あいさつといたします。

### 3年間の研修の流れ

